

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 日本インシュレーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 5368 URL <https://www.jic-bestork.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉井 智彦
問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部経営企画部部長 (氏名) 金子 一郎 (TEL) 06-6210-1250
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,236	2.8	1,069	61.7	1,082	64.0	722	67.6
2023年3月期第3四半期	8,985	△14.6	661	△49.1	660	△50.8	431	△43.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 843百万円(81.8%) 2023年3月期第3四半期 463百万円(△35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	83.56	—
2023年3月期第3四半期	49.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,230	13,006	75.5
2023年3月期	16,323	12,469	76.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 13,006百万円 2023年3月期 12,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	37.00	37.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,335	8.2	1,433	25.1	1,416	23.9	878	21.3	101.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	8,707,200株	2023年3月期	8,707,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	50,929株	2023年3月期	65,915株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	8,651,409株	2023年3月期3Q	8,648,852株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。したがって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性も有しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念、また物価上昇や中東地域をめぐる情勢など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績につきましては、建築関連では、大型の耐火被覆工事の受注の減少により工事部門の売上高は減少しました。販売部門で価格転嫁の効果に加え、需要量回復により増加したものの、建築関連セグメントの売上高は前年同期比で減少しました。プラント関連では、工事部門で定期修理工事等の工事受注が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。販売部門で売上高が減少したものの、プラント関連セグメントの売上高は前年同期比で増加しました。なお、原料・燃料費の高騰に対応して昨年より行ってきた価格転嫁は浸透しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は9,236,963千円(前年同期比2.8%増)、営業利益は1,069,644千円(前年同期比61.7%増)、経常利益は1,082,506千円(前年同期比64.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は722,875千円(前年同期比67.6%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<建築関連>

工事部門においては、データセンター、オフィス、病院施設等の耐火被覆工事が比較的堅調に推移したものの、物流関係の大型工事案件の受注が振るわず、工事売上高は前年同期比で減少となりました。一方、販売部門においては、住宅向け耐火被覆材、炭素繊維強化プラスチック複合材料(CFRP)型材の販売量が堅調に推移したことに加え、価格転嫁の効果等により、販売売上高は前年同期比で増加しましたが、工事売上の減少を販売売上の増加でカバーするには至りませんでした。

その結果、建築関連全体の売上高は3,456,435千円(前年同期比6.7%減)、営業利益は686,820千円(前年同期比4.2%減)となりました。

<プラント関連>

工事部門においては、定期修理・メンテナンス工事等の受注が堅調に推移したことにより、工事売上高としては前年同期比で増加しました。販売部門においては、当期間においては、国内一般顧客メンテナンス向け、建設案件向け販売ともにやや振るわず、販売売上高は前年同期比で減少しましたが、工事売上の増加が販売売上の減少をカバーする形となりました。

その結果、プラント関連全体の売上高は5,780,528千円(前年同期比9.4%増)、営業利益は1,087,848千円(前年同期比76.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて906,284千円増加し、17,230,081千円となりました。

(流動資産)

流動資産については、前連結会計年度末に比べて865,256千円増加し、11,099,335千円となりました。これは主に、完成工事未収入金が672,793千円減少したものの、現金及び預金が1,087,421千円、受取手形、売掛金及び契約資産が207,554千円、電子記録債権が194,062千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産については、前連結会計年度末に比べて41,028千円増加し、6,130,745千円となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が32,282千円、機械装置及び運搬具(純額)が79,805千円減少したものの、建設仮勘定が26,272千円、その他(投資その他の資産)が132,995千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債については、前連結会計年度末に比べて306,540千円増加し、3,007,755千円となりました。これは主に、工事未払金が90,918千円、1年内返済予定の長期借入金が94,396千円、賞与引当金が37,359千円減少したも

の、支払手形及び買掛金が72,654千円、契約負債が77,517千円、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が138,036千円、その他が180,729千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債については、前連結会計年度末に比べて62,946千円増加し、1,215,529千円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が5,706千円減少したものの、健康被害補償引当金が11,283千円、長期借入金が60,360千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて536,797千円増加し、13,006,796千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が114,931千円、利益剰余金が403,147千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました予想数値からの変更は行っておりません。今後、経済及び事業環境が悪化する等の事態が発生した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,368,707	5,456,129
受取手形、売掛金及び契約資産	2,009,318	2,216,873
電子記録債権	700,401	894,464
完成工事未収入金	2,049,424	1,376,631
商品及び製品	572,944	581,674
仕掛品	308,359	377,178
原材料及び貯蔵品	140,146	159,348
その他	84,776	37,034
流動資産合計	10,234,079	11,099,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,363,478	1,331,195
機械装置及び運搬具（純額）	1,216,866	1,137,060
土地	2,721,445	2,721,445
建設仮勘定	1,366	27,638
その他（純額）	56,050	65,342
有形固定資産合計	5,359,206	5,282,683
無形固定資産	70,442	54,999
投資その他の資産		
その他	711,930	844,926
貸倒引当金	△51,863	△51,863
投資その他の資産合計	660,067	793,062
固定資産合計	6,089,716	6,130,745
資産合計	16,323,796	17,230,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	900,677	973,332
工事未払金	488,520	397,602
契約負債	216,044	293,561
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	507,048	412,652
未払法人税等	40,996	179,032
賞与引当金	189,035	151,675
完成工事補償引当金	5,585	5,752
工事損失引当金	6,029	2,607
設備関係支払手形	39,740	53,272
その他	257,536	438,266
流動負債合計	2,701,214	3,007,755
固定負債		
長期借入金	380,890	441,250
役員退職慰労引当金	187,152	181,446
健康被害補償引当金	146,500	157,783
その他	438,041	435,050
固定負債合計	1,152,583	1,215,529
負債合計	3,853,797	4,223,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200,247	1,200,247
資本剰余金	942,331	943,547
利益剰余金	9,513,682	9,916,830
自己株式	△50,346	△38,470
株主資本合計	11,605,915	12,022,155
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	789,081	789,081
その他有価証券評価差額金	115,061	229,992
為替換算調整勘定	△40,060	△34,434
その他の包括利益累計額合計	864,082	984,640
純資産合計	12,469,998	13,006,796
負債純資産合計	16,323,796	17,230,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,985,473	9,236,963
売上原価	6,769,892	6,584,464
売上総利益	2,215,581	2,652,499
販売費及び一般管理費	1,554,085	1,582,855
営業利益	661,496	1,069,644
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,343	18,104
健康被害補償引当金戻入額	7,130	-
為替差益	24,970	15,439
賃貸収入	15,858	14,679
その他	10,842	13,463
営業外収益合計	73,144	61,687
営業外費用		
健康被害補償引当金繰入額	60,000	35,583
支払利息	4,559	4,124
賃貸費用	3,065	3,064
固定資産除却損	4,290	1,854
その他	2,466	4,198
営業外費用合計	74,381	48,825
経常利益	660,258	1,082,506
特別利益		
投資有価証券売却益	3,286	-
特別利益合計	3,286	-
特別損失		
減損損失	9,770	30,901
投資有価証券売却損	446	-
特別損失合計	10,217	30,901
税金等調整前四半期純利益	653,327	1,051,604
法人税、住民税及び事業税	130,937	327,851
法人税等調整額	91,190	878
法人税等合計	222,127	328,729
四半期純利益	431,200	722,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,200	722,875

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	431,200	722,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,445	114,931
為替換算調整勘定	17,227	5,626
その他の包括利益合計	32,673	120,557
四半期包括利益	463,873	843,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,873	843,433
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,702,910	5,282,563	8,985,473	—	8,985,473
計	3,702,910	5,282,563	8,985,473	—	8,985,473
セグメント利益	716,931	616,981	1,333,913	△672,417	661,496

(注) 1. セグメント利益の調整額△672,417千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第3四半期連結累計期間に9,770千円の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	建築関連	プラント関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,456,435	5,780,528	9,236,963	—	9,236,963
計	3,456,435	5,780,528	9,236,963	—	9,236,963
セグメント利益	686,820	1,087,848	1,774,669	△705,024	1,069,644

(注) 1. セグメント利益の調整額△705,024千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「プラント関連」セグメントにおきまして、当第3四半期連結累計期間に30,901千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。